

第2回
教科用図書丹波採択地区協議会
議 事 録

と き 平成27年7月13日(月)
と ころ 篠山市立篠山市民センター催事場1・2

教科用図書丹波採択地区協議会

第2回教科用図書丹波採択地区協議会議事録

平成27年7月13日（月）・第2回教科用図書丹波採択地区協議会が召集される。

I. 協議会の会議の日時及び場所

（日時） 平成27年7月13日（月） 14時00分開会

（場所） 篠山市立篠山市民センター 催事場1・2

II. 出席委員等の氏名

教科用図書丹波採択地区協議会規約第4条第1項

第1号委員 前川修哉委員 小田繁雄委員

第2号委員 小澤千秋委員 深田俊郎委員

第3号委員 水井廉雄委員 伏田雅子委員

第5号委員 松笠勝也委員 梅田俊幸委員

第6号委員 森田恭弘委員 奥野隆之委員

高森俊広委員 西山浩委員

III. 欠席委員等の氏名

教科用図書丹波採択地区協議会規約第4条第1項

第4号委員 井口好政委員 片山昇委員

IV. 協議会開催のために出席した者の職氏名

篠山市教育委員会事務局 次長 細見博文

学事課 課長 羽馬辰也 係長 荒木敏文

丹波市教育委員会事務局教育部教育総務課 課長 大垣至康 係長 田口頼希

V. 会 議（開会：14時00分）

1. 開 会

篠山市教育委員会事務局学事課長より配布資料の確認及び出席状況の報告を行う。

出席状況は委員 14 名中 12 名の出席があり、教科用図書丹波採択地区協議会規約第 8 条第 1 項の規定により委員の過半数かつ両市教育長を除く委員が両市の委員各 1 名以上出席があるため協議会が成立していることを報告する。

2. あいさつ

2. あいさつ

本協議会会長より、各教科調査員長に対し短期間での調査研究の取りまとめについて謝辞を述べ、本協議会で選定する教科書が平成 28 年度丹波採択地区で使用される教科書となるため慎重な協議選定を願う旨のあいさつを行う。

3. 調査報告

3. 調査員長より調査報告

各教科調査員長の報告に入る前に、会長より文部科学省書等中等教育局教科書課発文の事務連絡『教科書採択に向けての留意事項』の説明を行い、調査研究結果にとらわれない選定とするよう各委員に対し確認を行う。

各教科調査委員長より調査研究報告書に基づき報告を受ける。

※ 以下、調査の視点を掲載

【国語】

- ① 生徒の興味・関心を引き、使いやすさを感じさせる教科書であるか。
- ② 教科書に使用している字体の見やすさ。
- ③ 掲載作品の質・量、バランス、繋がりが適正であるか。
- ④ 生徒が難しいと感じている古典学習（文法事項等）がわかりやすくなっているか。

- ⑤ 防災・国際理解に関する内容が取りあげているか。

【書写】

- ① 教科書の大きさ、ページ数、色彩及びレイアウト。
② 学習の進め方についてわかりやすく示されているか。
③ 毛筆、硬筆、楷書及び行書の手本が適切に示されているか。
④ 高学年では多様なことに興味を持つことが重要な事項であるためコラム等が目的に対応しているか。
⑤ 資料編が手本として適正であるか。
⑥ 丹波採択地区で取り組んできた実践内容に沿う教科書であるか。

【社会】

《地理的分野》

- ① 生徒が活用しやすい教科書であるか。
② 学習進行上わかりやすい配列になっているか。
③ 活用しやすいインデックス、見出しの表示であるか。
④ 振り返りの学習が行える内容が充実しているか。
⑤ 地域教材の学習内容が充実しているか。

《歴史的分野》

- ① 表記内容が適切な量で、片寄りがなくバランスが良いものであるか。
② 資料が充実しているか。
③ 掲載されている写真の量や色合いにより見やすい内容となっているか。
④ 歴史の流れがわかりやすい内容となっているか。

※ 日本史・世界史の時代での繋がりが把握できる内容であるか。

《公民的分野》

- ① 文章表記が理解しやすい内容となっているか。
② グラフ等の資料が充実しており活用しやすい内容となっているか。
③ 学習の振り返り、まとめが充実しているか。

《地図》

- ① 教科書と連動している配列となっているか。
- ② 授業で活用しやすいものであるか。
- ③ 見やすい文字、落ち着いた色合いを使用しているか。

【数学】

- ① 例題内容については実生活に近いものが掲載されているか。
- ② 途中式が丁寧に扱われているか。
- ③ 基本問題、活用問題及び発展問題の掲載量が充実しているか。
- ④ 紙面構成と色合い等により見やすくなっているか。
- ⑤ 丹波採択地区として、『基礎基本の習得』『生徒が自主的に予習・復習が行えるもの』『活用力を養う活用問題の質と量』『思考力や表現力を高める数学的活動内容』について活用できるか。

【理科】

- ① 自然災害・環境保全に関する意識付けができる内容となっているか。
- ② 観察実験実施に際しての危険防止への配慮がなされているか。
- ③ 実社会・実生活で活用できる内容が含まれているか。
- ④ 色分けや関連づけについて視覚的な配慮がなされているか。
- ⑤ 身近な題材が使用されているか。(兵庫県を中心に近畿圏)
- ⑥ 個人で学習を深める活動が行える内容であるか。
- ⑦ 情報整理の観点から分析しやすい内容となっているか。

【音楽・器楽】

- ① 学習指導要領の目標に沿った内容であるか。
- ② 楽曲の分量が適正であるか。
- ③ 教科書がユニバーサルデザイン化されているか。
- ④ 兵庫県に関係する内容がどの程度掲載されているか。
- ⑤ 歌唱・鑑賞・創作・器楽がバランスよく整理されているか。

- ⑥ 感性を育てる上で有効な教科書であるか。

【美術】

- ① 表現と鑑賞の領域についてバランスが取れているか。
- ② 生徒の視覚に訴える教材が掲載されているか。
- ③ 伝統的なもの、兵庫県にゆかりのある作品の掲載があるか。
- ④ 授業のねらい、振り返りのポイントが明確にされているか。
- ⑤ 学年によって使いやすい教科書となっているか。

【保健体育】

- ① 学習の課題が明確に提示されているか。
- ② 見やすく理解しやすいレイアウト構成になっているか。
- ③ 掲載内容が『生涯体育』『生涯学習』『キャリア教育』につながるものであるか。
- ④ 身近に感じられる工夫がなされているか。

【技術・家庭】

《技術分野》

- ① 生徒の興味関心を引く内容となっているか。
- ② 技術の4領域の多くの内容がすっきりとまとめられているか。
- ③ 見やすく使いやすいものであるか。
- ④ 学習項目の目標・まとめが整理されているか。

《家庭分野》

- ① 作業が伴うため見やすい内容となっているか。
- ② 学力向上の観点（学習の目当て等）が示されているか。
- ③ 持続可能な生活の観点（リサイクル等）が取り上げられているか。
- ④ 防災や地域教材の観点の内容が掲載されているか。

【外国語】

《英語》

- ① 教科書の大きさ、字体、文字の大きさ、写真・絵の掲載が見やすい内容となっているか。
- ② 4技能（聞く、話す、読む、書く）のバランスが取れているか。
- ③ 重要文法の掲載配列順が学習進行上適切であるか。
- ④ 小学校英語から中学校英語へのスムーズな移行が行える内容であるか。
- ⑤ 英文等の分量が適切であるか。
- ⑥ 興味関心を持つ話題（グローバル化・環境・兵庫県に関連したもの）が掲載されているか。
- ⑦ 丹波採択地区の重点目標である基礎基本を定着させる構成となっているか。

【一般図書】

- ① 知的障害をもつ児童生徒にも理解できる狙いがはっきりした内容となっているか。
- ② 集中力の乏しい児童生徒にも理解しやすい文書や挿絵となっているか。
- ③ 自閉症・情緒障害を有する児童生徒が落ち着いて楽しめる構成内容となっているか。
- ④ 基本的な生活習慣が身につく内容となっているか。
- ⑤ 児童生徒の生活経験を広げることにつながる内容となっているか。
- ⑥ 児童生徒の主体的活動につながる内容となっているか。

各教科調査員長からの説明後、各委員からの質疑を受ける時間を設けたが、質疑はなかったため、会長が質疑応答を打ち切り、各教科調査員長の退席を命じた。

～ 調査員長退席 ～

4. 協議選定

4. 平成 28 年度使用教科用図書協議・選定

会長より各委員に対し、平成 28 年度使用教科用図書の選定方法について下記の内容を説明する。

- ① 委員全員の一致により選定教科書を決定
- ② ①とならない場合は、投票により過半数を得た教科書を選定
- ③ ②で決定しない場合は、②の投票で最多数の票を得た 2 つの教科書で再投票、多数を得た教科書を選定

説明後協議に入り下記内容の協議が行われた。

I 各教科調査報告における調査研究の下記視点の内容が選定にあつての参考となった。

- ① 生徒の立場に立った視点
- ② 地域教材としての活用
- ③ 興味関心を引く内容

II 数学の啓林館の別冊について、冊数が増えることにより取扱いが煩雑になるのではないか。

【II に対しての協議等】

- ・ 数学としては初であるが、理科としては同様の別冊形態となっており、活用方法が定着したのではないかと判断する。
- ・ 数学として別冊があると発展的な学習が進められ、生徒の理解度に合わせ活用が図れると判断する。

Ⅲ 各教科の調査報告内容に、地域性や兵庫県に関する内容を調査研究の視点として上げられていたが、選定する視点としては、教科書全体として評価すべきでないか。

【Ⅲに対しての協議等】

- 生徒が教科書を最初に見るところは写真や知っている地名等が大半であり、勉強を進める上で導入部分は重要で、いきなり本題に入るのではなく、身近な話題から本題に入る方が良いと考える。
- 身近な内容があると発展的な内容につながると考えるので、学習には必要な視点である。
- 地域性の視点はあくまで調査研究を進める上の一つであり、調査研究としては総合的に判断した内容であると考えます。

他に委員からの発言がないため協議を終了し、教科ごとに発行会社一つ一つに委員に賛成の挙手を求め下記の教科書発行会社のとおり全員一致で決定した。

教科	選定発行社名
国語	東京書籍
書写	教育出版
社会（地理的分野）	帝国書院
社会（歴史的分野）	日本文教出版
社会（公民的分野）	日本文教出版
地図	帝国書院
数学	啓林館
理科	啓林館
音楽（一般・器楽合奏）	教育芸術社
美術	日本文教出版
保健体育	大日本図書
技術・家庭（技術分野）	開隆堂出版
技術・家庭（家庭分野）	開隆堂出版
外国語（英語）	東京書籍
一般図書	一覧のとおり

選定結果に基づき、篠山市教育委員会及び丹波市教育委員会に通知する文面の説明を事務局より説明を行い、各委員が確認し了承する。

5. その他

5. その他

事務局より各委員に対し事務処理上必要な連絡を行う。

6. 閉会

6. 閉会

副会長より各委員の熱心な協議、慎重な選定について謝辞を述べられ第2回協議会を閉会した。

(終了：15時40分)